

21世紀 COE「流動ダイナミクス国際研究教育拠点」

平成18年度 国際宇宙大学サマーセッション派遣 報告書

平成 18年 9月 7日

氏 名	高橋 英美		
所 属	大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程後期1年		
指導教官名	大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授 升谷 五郎		
派遣期間	平成 18年 6月 24日 ~ 平成 18年 9月 7日		
派遣先(施設名/都市名/国名)	国際宇宙大学本部キャンパス/ストラスブール/フランス		
派遣期間中における主な訪問先			
参加人数	104(内日本人 6名)	参加国数	27ヶ国
参加チームプロジェクト	Artificial Environment (A Closed Loop Habitat for the Moon)		
著名な講演者	James Burke(アメリカで最初に月面に到達した宇宙機 Ranger の初代プロジェクトマネージャー), Peter Diamandis(X Prize 財団会長), 向井千秋(日本初の女性宇宙飛行士, Buzz Aldrin(2番目に月面着陸したアメリカ人宇宙飛行士))		
派遣期間中の協賛学会等への参加	なし		
<p>本年度の国際宇宙大学サマーセッションプログラム(ISU SSP06)はフランスのストラスブールにある ISU 本部キャンパスで開催されました。</p> <p>SSP は基礎講義, デパートメント活動(図 1)及びチームプロジェクトより成る短期集中型の特殊なプログラムです。参加者は世界各国から集まります。NASA, ESA, Boeing 等といった宇宙開発の第一線で活躍する研究者から, 法律家や建築家等, そして大学院生まで実に幅広い分野, 年齢層で構成され(図 2), 皆生徒として同等の立場で研修を行います。また, 期間中は, 生徒, TA, 講師の全てが寝食を共にするため, 全参加者の間には強い絆が結ばれました。各人の生まれ育った生活環境, 文化, 言語的な違いはあるものの, 同様に希望を持ち, 同様に不安を覚え, そして同様に生活することができる, 一つの地球上の一人類であることを実感しました。</p> <p>約 11 週間の短い派遣期間でしたが, まるで 1 年分にも相当するかのような高密度の生活を送ることができました。世界中に素晴らしい友達ができただけでなく, 視野が広がったこと, 宇宙開発に関して幅広い知識を得たこと, 国際的な環境の中で議論や会話をする能力が急激に成長したこと等, 実体験を通して得たものは絶大です。今回の経験を必ず活かし, 今後の宇宙開発活動の活性化の一助となるよう, 尽力してゆきます。</p>			
			
図 1 EVA(船外活動)シミュレーション		図 2 全生徒集合写真	